

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 木曜・4校時	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	ドイツ語Ⅱ German II		
対象年次 1年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) K25	科目分類	外国語科目(ドイツ語)	
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室 担当教員:目 正勝 /Eメールアドレス:m79sakka@aol.com /研究室:(非常勤講師)			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: ドイツ語文法の基礎を学習する。平易なドイツ語文による解説と練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。テキストのドイツ語文やその他の記事を通じて、ドイツの地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。</p> <p>授業方法: 前期に引き続いて、テキストに従って進む。動詞の三基本形や過去人称変化を学習した後、現在完了、受動態、関係代名詞、そして仮定表現などまで進む。 教室では、文法の説明のあと、テキストの練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておく必要がある。語形変化は練習を繰り返し繰り返し行う。 テキストの音読やテープによるリスニングも。</p> <p>授業到達目標: 正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。</p>			
授業内容			
<p>全12課のうち、前期に引き続いて、第7課から第12課まで。</p> <p>第1回 第7課、動詞の三基本形、過去 第2回 第7課、過去、現在完了 第3回 第7課、現在完了、練習問題 第4回 第8課、形容詞の格変化、形容詞の名詞化 第5回 第8課、前置詞(3・4格支配)、練習問題 第6回 第9課、比較表現、再帰表現 第7回 第9課、再帰表現、練習問題 第8回 第10課、関係代名詞、指示代名詞 第9回 第10課、指示代名詞、練習問題 第10回 第11課、受動、非人称動詞、 第11回 第11課、非人称動詞、練習問題 第12回 第12課、接続法第1式、 第13回 第12課、接続法第2式、練習問題 第14回 第12課、補足、数詞、序数、時刻の言い方、日付、数式 第15回 全授業のまとめ、定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	<p>教科書: 「さあ窓をあけよう! 一新正書法版」 山口知三、加藤文雄 著 朝日出版社 独和辞典: 『新アポロン独和辞典』(同学社) 他</p>		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			